



2017-2018 年度 RI 会長テーマ

RI 第 2 6 1 0 地区

## 東となみロータリークラブ会報

2017-2018 年度 No.15

事務局(新) 〒939-1652 富山県南砺市福光新町 56

TEL 0763-55-6125 FAX 0763-55-6147

[h.tonamirc@gmail.com](mailto:h.tonamirc@gmail.com)

2017-2018 年度 会長 河合耕一、幹事 長谷川吉美



ロータリー：  
変化をもたらす

(イアン H.S.ライズラリー会長)

## 例 会 記 録

### 第 1887 回例会

平成 30 年 1 月 24 日(水) よいとこ井波

1. 開会点鐘：会長
2. ソング：四つのテスト
3. 会長の時間：大変な雪の中ようこそ出席いただきました。昨日は白根山噴火があり、YouTube の動画でもかなり大きな噴石が飛んでいました。自衛官が訓練中に一人亡くなられました。平成に入って地震だらけ、災害の連続であります。平成 7 年の阪神淡路大震災を皮切りに能登沖、北海道、東日本大震災と日本列島のあちこちで毎年のように、大きな災害が起こっています。一昨年には熊本地震がありそして今回の噴火、被災されました方にお見舞いを申し上げます。残りの平成が穏やかに過ぎますように願うばかりです。今晚から明日にかけて何十年ぶりかという寒波が来て日本中がマイナス 45℃の寒気の下に入ると予報が出ています。皆さんには被害にあわれないようにお祈りいたします。
4. 幹事報告：① 3 クラブ合同懇親会の開催案内、2 月 19 日(月)18:00 例会、18:30 合同懇親会(会場)砺波翔凜館② 近隣クラブの例会変更は、事務局に確認ください。
5. 委員会報告：① 出席報告(中島委員長)22 名中 16 名出席(出席率 72.73%)
6. ニコニコBOX(SAA：本日 3 名)

河合会長：雪の被害がないことを祈ります。

坂井会員：本日の卓話、宜しくお願いします。

中島会員：昨今の頃は職場にインフルエンザが大流行、今年は今のところ感染者なしで一安心です。皆さんも気をつけて下さい。



### 卓話「観光をキーワードに、持続的な『地方再生』を目指す」

坂井彦就会員 (庄川峡観光協同組合理事長)

坂井会員：(抄録より) …富山・金沢・飛騨の中間地点にあり、庄川峡という自然美をもつ「庄川温泉郷」には、国内で類をみない、とても希少な泉質をもつ温泉があります。温泉の泉質の効能・効果は、美容から健康まで、とても大きな効果をもたらしています。旅館群は、ミシュランガイドで県内最多の国際的にも高い評価をいただいています。

「庄川峡観光協同組合 (以下、当組合という)」では、

2011年に定款を改定し完全な異業種組合に転換しました。旅館・飲食店・地域の商店（魚屋・肉屋・酒屋）・農業・食品製造業・ガソリンスタンド・遊覧船・バス・タクシーなどの方々にも入会していただき、観光振興を軸に異業種が連携し、地域内循環による「地方創生」を目指しています。（組合員数42社 2017年12月現在）

当組合の一番大きな目的は、観光をキーワードに持続的な「地方創生」を実現させることです。「にぎわい」や「活性化」といった漠然とした成果だけではなく、継続的に地域にお金を落とす仕組みをつくるのが本来の「地方創生」だと思います。現在の具体的な組合の収益事業は主に3つあります。

①**指定管理業務**「庄川水記念公園」（2007年～）・健康と福祉の施設「ゆずの郷 やまぶき」（2017年4月～）「砺波市パークゴルフ場」（2018年4月～）この3施設を指定管理者として運営しています。②**「道の駅 庄川」**（2017年6月～）のテナント運営。旧来の道の駅から、「みんなの公民館」をコンセプトに、地域内外の憩いの拠点としてリノベーションし、運営しています。③**地域の特産品を使用したお土産品の開発や販売**。庄川産ゆずを使用したミルク饅頭「ゆずまる」や、農観連携によって生まれた庄川の温泉水で栽培した「庄川おんせん野菜」、「庄川おんせん野菜」を使って製造から販売までを地域内連携で内製化させた「しょうがドリンク」といった加工品など、庄川でしか買えない特徴あるものを、当組合の運営施設や組合加盟の旅館などで販売しています。（他にも試作品多数あり。）

小さな地域の組合でありながら、正社員10名・パート30名以上が働いています。新しい魅力ある仕事をつくることによって、県外で働いていた若者が数名地元に戻り組合で働いています。また地元の元気な高齢者の雇用も生まれました。

観光をキーワードに、企業や商店が地域と共に発展していく好循環を実現させるため、地域内外からお越しいただいたお客様に、旅館・飲食店・当組合運営施設などでお金を落とすいただき、その稼いだお金で地域内の企業や商店・農家などから食材や燃料・温泉などを仕入れることによって、お金を地域内で循環させる。このサイクルを確立させ、大きくしていくことこそが、地方創生のあるべき姿だと思います。

## 第1888回例会

平成30年1月31日(水) よいとこ井波

\*開会点鐘

\*ソング：それこそロータリー



\*会長の時間：河合耕一会長「今年平成30年も早1か月が過ぎ、何をしていたのか、はなはだ疑問です。Facebookなどから情報として、アンビグラムという文字を書いたものが逆様にすると違う字が読めることを利用して、井波彫刻協同組合が、鳴子を製品化しようとしています。『よさこい』が『いなみ』に読めるというものです。素晴らしいです。もう1つ、『挑戦』という字、これを逆様にすると、『勝利』になります。このアイデアは27歳の富山県出身

者のものです。まさに、これから挑戦することが勝利に繋がるのですネ。」

\*幹事報告(長谷川幹事)：①2月のロータリーレポート：1\$=110円②クリスマス例会の負担金、会員本人10000円、家族7000円、子供さん3000円です。③近隣クラブ例会変更は事務局に確認を。

\*委員会報告：①出席報告(中島委員長)：22名中16名出席。72.73%②R財団委員会(山本武委員長)：次年度保持金セミナーに参加、当クラブ寄付実績から、2017-18年度は77000円(2310\$)の地区補助金申請限度となっています。(余談)昨日、小松東RCに卓話に行ってきた。



\*ニコニコBOX(本日：5名)

**河合会長**：明日から2月、1月は何をしましたのでしょうか。

**三角会員**：出張のため、早退します。

**坂井会員**：13：30より富山市で会議のため早退します。

**中島会員**：孫がインフルA型でダウン、幸い接触なし、気をつけたいです。

**山本武夫会員**：先週、欠席お詫び、精密検査はOK。昨日、小松東RCにゲスト卓話に行ってきました。大歓迎でした。



#### \*会員卓話「シルクロードの旅」高瀬頭正会員

**高瀬会員**：(旅行ビデオ見ながら解説あり)昨年9月に、仏教聖地訪問のグループと、シルクロードの旅ということで、中国新疆ウイグル自治区の中の、ウルムチから、トルファン、クチャ、カシュガル、ホータンの地を巡ってきた。

首府ウルムチは、砂漠の中の大都市、9月でも37度、しかし乾燥していて暑さを感じない。30kmも地下水路で天山山脈から雪解け水を引いて緑地化したカレーズのある、トルファンには、海拔マイナス154mの塩湖(アイデン湖)がある。この自治区は現在は全てイスラム教徒、かつては、仏教が栄え、世界遺産「高昌故城」には、日干レンガの遺跡が残存。イスラム教徒に徹底的に破壊されたがいくつかの壁画が保存されている。ここから、玄奘三蔵がインドに仏教を学びに出發、その持ち帰った経典が今の日本に伝わっている。高昌国にあった仏塔跡、一方イスラムの村には伝統料理「シシカバブ」「ナン」があった。ここには「西遊記」に出る火焰山や広大な葡萄園「葡萄溝」があった。世界遺産「交河故城」や最近できた「吐魯番博物館」には、壁画や仏像、1200年前のミイラなどの展示があった。続いて夜行列車で、天山北路を西部の仏教王国のあったクチャへ。ここには世界遺産「キジル千仏洞」があり、三蔵法師・鳩摩羅汁の故郷でもある。敦煌・莫高窟とならぶ石窟がある。この中の一部が見学できた。その後、のろしを上げた世界遺産「クズルガハ烽火台」や漢代から唐代の仏殿と僧房のある「クズルガハ千仏洞」や「スバシ故城」を長い道を歩いて見学した。その後、カシュガルやホータンまで、足を伸ばし、帰路についた。

(会報担当) (写真)、山本武夫 (HP)